



前へ

次へ

縮小/拡大

移動

テキスト

選択

注釈

サイドバー

検索



温熱体験談



三井温熱療法を施術して

20年目に入りました。沢山の方が訪れてくださり、その方々の治療を通して多くの気づきと確信を抱いております。

中でも6年程前に膵臓癌で亡くなられたIさん(60歳代後半)は、身体でもって私におしえてくれました。初め、子宮癌の術後 来所され亡くなるまでには、肺癌などいくつかの癌と戦って最後は膵臓癌でした。膵臓癌になるまでは「早期発見」「早期治療」の方で、2ヶ月ほどお顔を見せないなあーと思ったら「癌ができていたのでとってきました」そんな風でした。

世界一周が目標の旅好きな方で、入院でない時は、外国でした。そんなIさんが 膵臓を病んだ時は病院をやめて温熱一本で治療したいと申し出があり、3年くらい治療しました。その間も好きな旅行はやめませんでした。

いよいよ十二指腸が閉塞して、食事を受け付けなくなった頃には、ホスピスに入院手続きが整い、ご挨拶にこられました。その日を最後に温熱治療は終わりました。その後4ヶ月後に娘さんより訃報が届きました。

「一度も痛み止めは使いませんでした。体に針を刺すことなく眠るように旅立ちました。これまでの温熱治療をありがとうございました。」ということでした。娘さんは今では月に1度来られる常連さんです。

三井と女子先生が常々おっしゃられた治療の三悪「飲むな。切るな。焼くな。」の大切さを痛感した次第です。人の持つ自然治癒力を大切にしたいものです。身体を無理に傷つけず、薬だけを頼りにせず!

三井と女子先生をはじめ諸先生方との出会いに心より感謝いたします。身体と対話しながら、時にはとてつもなく熱い温熱ですが…。

自然に…が一番だと教わります。

那覇市牧志 山城美千代

温熱療法について

温熱器を購入した時は、さほど身体を温めることに重きを置いていなかったので、棚の上に乗せたまま埃が

溜まっていた。私の場合、咳が出始めると一か月近くも続き、病院に通い薬を飲む日々でしたが、一向に良くなりません。

咳の為に肋骨が痛くなり、どうしたものかと思案していましたが、温熱器を思い出して早速胸を温めてみました。すると咳が止まりました。驚きましたね。また先日夜中に咳が出て咽喉が痛くて目が覚めました。すぐ温熱器で咽喉を温めると1時間くらいで痛みが無くなり、安心して眠ることが出来ました。

そして1年くらい前から「ふくらはぎ」が攣るようになり、温熱器で温めると和らぎました。温めることが痛みや攣撃を和らげて、血液の循環を良くし代謝が促進するのだと思いました。

子松先生には、常日頃ご指導を頂いております。心よりお礼申し上げます。

東京都豊島区 飯塚芳子

